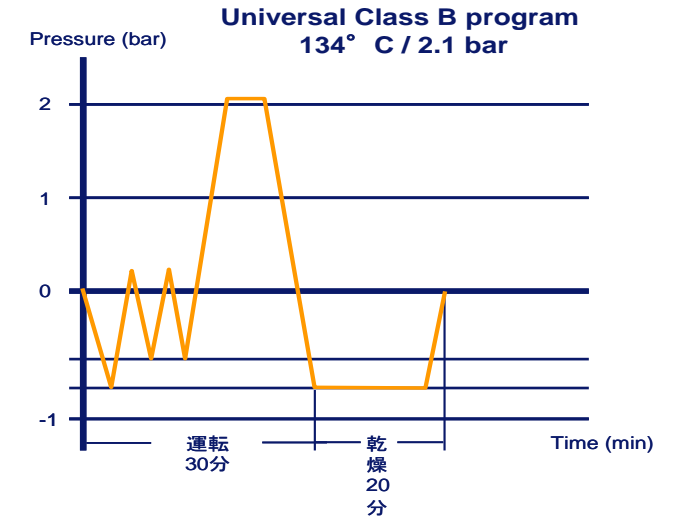


# DAC PROFESSIONAL

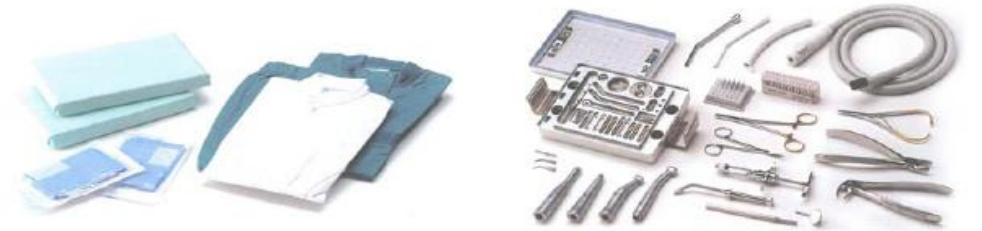
## 被滅菌物別の滅菌器クラス

被滅菌物	例	クラスB	クラスS	クラスN
固形製品(包装)	ミラー、カンシ、パー、バット、 印象トレイ、ピンセット	○	○	×
固形製品(非包装)		○	○	○
中空製品(包装)	ハンドピース、シリンジノズル、 パキュームチップ、 インプラント用インスツルメント	○	×	×
中空製品(非包装)		○	○	×
繊維製品(包装)	ガーゼ、ドレープ、衣類	○	×	×
繊維製品(非包装)		○	×	×



### クラスB滅菌機の利点

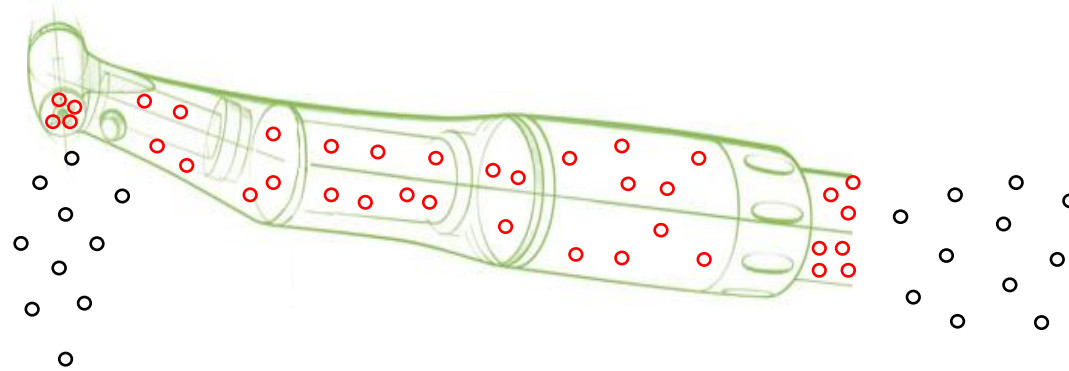
1. 残留空気を抜き、真空状態で滅菌を行うため、飽和蒸気が隅々まで浸透 → あらゆる被滅菌物を確実に滅菌
2. 沸点の低い真空状態で乾燥を行うため、92℃以下の低温乾燥が可能（HPの乾燥温度上限は140℃）



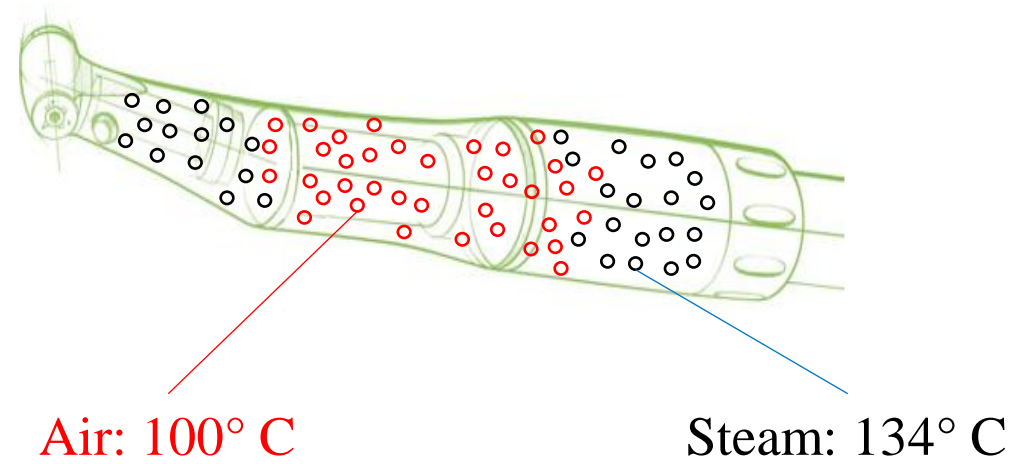
# ハンドピース滅菌の違い



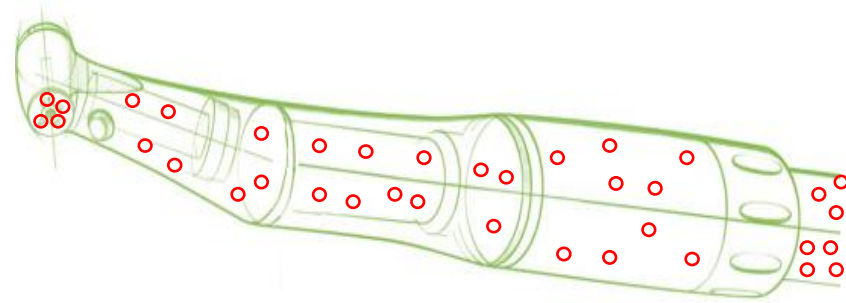
# クラスN滅菌器の場合 内部の空気が蒸気浸透の邪魔となる



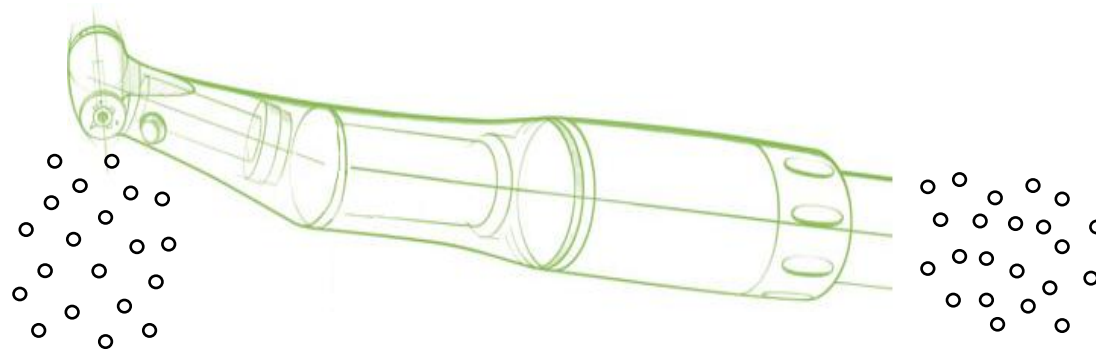
# クラスN滅菌器の場合 内部の空気が蒸気浸透の邪魔となる



# クラス B 滅菌器の場合

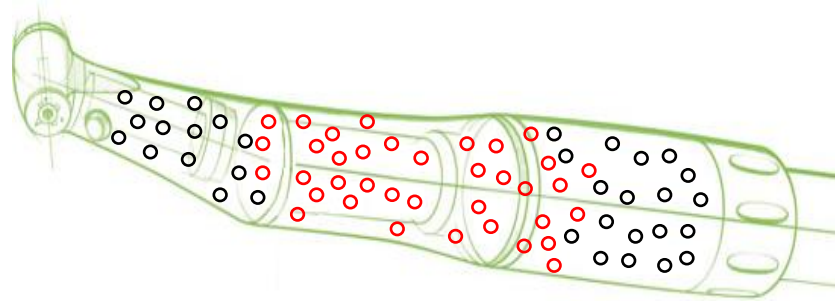


# クラス B 滅菌器の場合



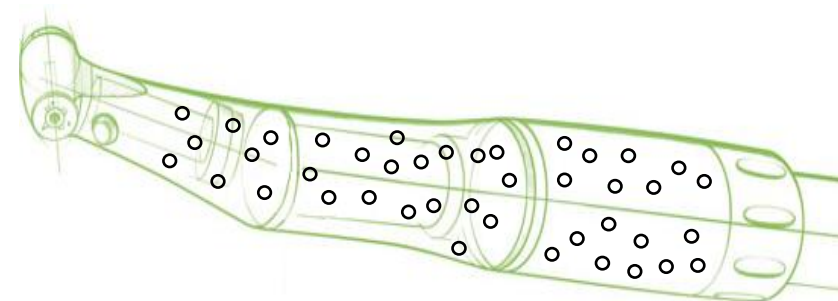
# クラスN v s . クラスB滅菌器

クラスN



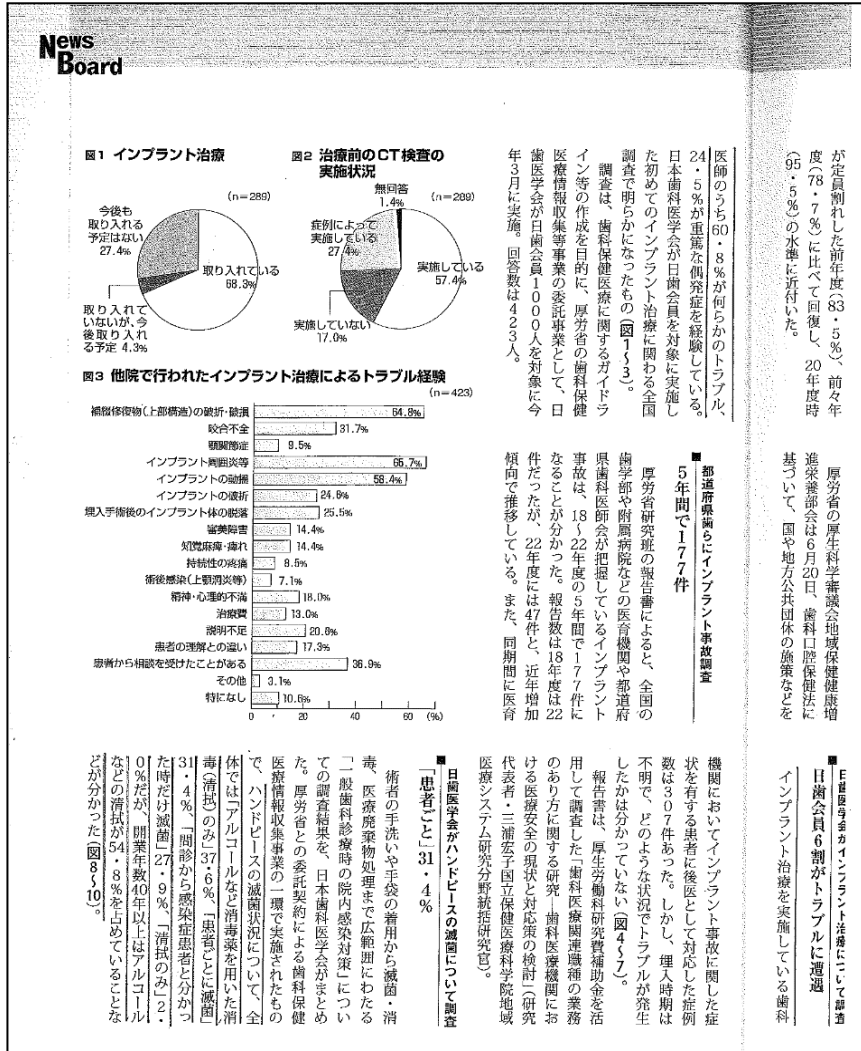
残留空気部分の滅菌が不完全

クラスB



内部まで完全に滅菌

# 感染リスク (アポロニア2012年8月号)



- インプラント事故の形態  
1位：術後感染（30%）
- 後医として対応した場合の事故の形態  
1位：術後の感染（34%）
- インプラント治療を行う歯科医院に、クラスB滅菌器は必須
- ブラジル、メキシコの歯科医院も当然のように導入（感染の訴訟に備えて）
- 中国の都市部ではクラスBなしでは開業許可下りない

